

その上で、活動内容を地域の方々にも理解していただき、価値観をも高めたいと考えています。ロータリー自身が自覚を持って活動しない限り、多くの人たちからの支持は得られないと思いますので、何卒、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

■広報委員会
委員長 風岡 淳一



■クラブ会報委員会
委員長 小岩 淳一



■会員増強担当理事 新藤 栄介

ネームボックスに『入会候補者紹介カード』を入れさせていただきました。こちらに当クラブの会員に相応しいと思われる候補者、又は今すぐには難しくとも将来的に是非とも入会して欲しい候補者を記入して頂き、今月末までに事務局へFAXをお願いします。なお、紹介した候補者を一緒に勧誘してもらえそうな当クラブの会員が居りましたら併せてご記入ください。



～すべては好奇心から



■会員増強委員会 委員長 星野 良江
基本方針のもと、会員増強 15 名を目指します。今年度は配島信恵副委員長とともにヨシノブペアで、特に女性会員増強に力を入れていきます。しかし、私たちだけではできません。是非とも、皆様のご協力をお願いします。大宮西ロータリー独自の家族会員規定(年度計画書 P.84) を利用しての声掛け。また、今月は会員増強月間でもありますので、皆さんにお配りした入会候補者紹介カードに 2 人ご記入の上、事務局まで FAX を宜しくお願いします。

■会員選考委員会 委員長 染谷 義一

パスト会長定石の会員選考委員長の染谷です。会員増強委員会と一緒に会員増強を致します。15 名の増強をして、60 周年を迎えたいと思います。

「60 周年 新たな奉仕活動」～すべては好奇心から



■職業奉仕担当理事 川崎 春夫

■職業奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

職業奉仕委員会では小沢孝会長の意向を尊重し、国連サミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」を切り口にした企業卓話を主催します。その回数は年 6 回。小沢会長の思いの強さが滲み出る頻度です。SDGs という微妙な印象を抱く会員の皆様も多いと存じます。企業の社会的責任を示す「CSR」や環境や社会を重視する「ESG」など、過去十数年の間に浮かんでは浸透しきれなかったテーマを連想するためでしょう。しかし、SDGs には営利活動を通じてより良い社会を築くという理念もあります。ビジネスとして成立させるということです。翻ってロータリーの職業奉仕の理念。ロータリー各位の技能を生かし、財やサービスの提供により社会問題を解決すると同時に適切な利潤も得るという考えです。「ビジネスで社会に貢献する」という理念は SDGs に通ずるものがあります。SDGs に前向きな企業の取り組みは会員にとって良い刺激になるはずで

クラブスローガン



■国際奉仕担当理事 井上 勝美

今年度、国際奉仕部門は国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会、シスタークラブ委員会の 4 委員会にて運営致します。7 つの重点分野の奉仕活動を基本に各委員会が年度計画書に基づき活動して参ります。宜しくお願い致します。

「60 周年 新たな奉仕活動」～すべては好奇心から



■国際奉仕委員会 委員長 吉田 浩士

国際奉仕の各種プロジェクトはそれぞれの国の人々が求める生活の必需品や窮状の救済に応えなければなりません。ラオス人民民主共和国「ラオ・フレンズ小児病院」を今年度も支援して参ります。必要な支援の内容を調査し医療環境の向上につながる支援を行います。また前年は地区から紹介のベトナム・ダナン孤児院の支援を行いました。今年度も支援を検討しております。宜しくお願い致します。

■ロータリー財団委員会 委員長 永井 博

2023～2024 年度派遣 ロータリー財団奨学生候補 森田 悠介さんのカウンセラーを致します。またベネファクター 2 名を予定しております。宜しくお願い致します。



■米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香 (Zoom)



■シスタークラブ

委員会 委員長 荻原 直樹

・台湾・南投扶輪社への交流事業をはじめとする新たな友好関係構築
・2023 年 5 月にオーストラリアのメルボルンで開催予定の国際大会への参加推進

■社会奉仕担当理事 押野 一郎

社会奉仕部門は、小沢年度では社会奉仕委員会と環境教育委員会を包含しております。これまでの歴史と伝統は受け継ぎつつも少しずつ新規事業に取り組んで参ります。

「60 周年 新たな奉仕活動」～すべては好奇心から



■社会奉仕委員会 委員長

苗村 康男

例年通り、児童養護施設カルテットと大宮ろう学園を継続支援します。10 月には第四グループ合同事業として新規事業の窓口委員会となります。内容がはっきりしましたら関係する理事を通じて担当委員会と一緒に取り組んで参ります。

■環境教育委員会 委員長 緒方 学

環境教育委員会の方針につきましては、年度計画書の 30 ページに記載されている通りですが、具体的には前回の例会で委員長報告として進捗報告しております通り、本年度のクラブスローガンでもあります「新たな奉仕活動」の一つとして、さとう学園小学校の 5 年生が取り組んでいる「ビオトーププロジェクト」と云った学習活動に大宮西ロータリークラブとして関わり、教育の手助けをするべく進めております。「新たな奉仕活動」の一つとしての実績づくりをするべく尽力してまいります。一方、次週の例会では埼玉県生態系保護協会の池谷会長による卓話も予定しておりますので、併せて宜しくお願い申し上げます。

